協育

活気に満ち、笑顔が輝く学校
東根市立第三中学校
学校だより
令和５年度　第 11 号
（令和 6 年 2 月 19 日）

２月の校長講話より　「スペシャルな存在の東根三中（生）」

～ 東根三中(生)は、いかに特別な存在なのか考える ～　　校長 竹 内　斉

２月６日に実施した校長講話では、本校の歴史や様々な資料から、東根市立第三中学校(生)がいかに特別な存在であるのか全校生と考えました。

本校は、東郷中、高崎中の二つの中学校が合併して開校し、開校６１年目であること。今年は 23 人の卒業生が巣立つ予定だが、これまでは5,６０６人の卒業生がいること。北村山地区中総体では９つの競技で団体優勝を果たし、特に駅伝や女子卓球は何度も優勝していること。生徒会等の活動では、「中学生が地域を元気にする」というテーマで様々な活動を行っており、1970 年にバングラデシュ(東パキスタン)災害への募金活動で現在の金額だと 20 万円以上を集めたこと。1991 年に、白水荘へのボランティアの訪問をスタートしたこと。2010 年の修学旅行では市の友好都市である東京都中央区でふるさと東根 PR 活動を実施し、魅力を発信したこと。2016 年には、学区の出身者が多数移住開拓した北海道新得町との交流を行い、修学旅行で現地を訪問したことなどを紹介しました。学区の様子について、３５の地区からなり、市内最大の学区面積をもつこと。そして、本校生徒の家族について三世帯同居の割合が８２.９％と大変高く、祖父母と一緒に生活している家庭が本当に多いことを伝えました。(全国平均は２０.５％)

また、本校の特徴として、山形県には９５校の中学校があり、中学生が合計 26,213 人いる中で、三中の生徒数は７０人であり、県内のわずか 0.27％の大変貴重な存在であること。在校生の人数が県内で９番目に少ない学校であることを伝えました。一方で、三中生の人数が一番多かったのは、開校時の１９６２年の７３０人であり、近年の生徒数のほぼ１０倍であったことを伝えたところ、驚きの声が上がっていました。

三中生のコストパフォーマンスについて、現校舎の建築費を４０年使用すると仮定して計算し、学校を運営する年間の費用と合計したところ、一人当たり年間約２００万円の額になることがわかり、三中生が本当に大切にされている存在であることを確認しました。

最後に、本校の学校教育目標が「自信」と「誇り」を一人一人の生徒が身に付けることをめざしているのは、生徒数の多くない三中を卒業後に、それぞれの生徒がそれぞれの進路でたくましく頑張るための土台を築くためだと考えている旨を話し、どうすれば、学校教育目標の実現につながるか一人一人に考えて欲しいことを伝えて講話を終えました。

☆講話から「感じたこと・考えたこと」・三中生がもっと「自信」と「誇り」をもてるようにするために……。

○三中が一番多かったときに 730 人と知って驚きました。今は 70 人ですが、三中の人のいいところを他校などに知ってもらってより良い三中にしていきたいです。

○年間一人当たり 200 万円ものお金が必要と知り驚いた。この 200 万円分しっかりと学習や部活動に取り組みたい。

○三中にしかない良さや三中生であることを「誇り」として生活していこうと思いました。田舎の不便さもあるけれど、生徒が少ない分他の学校ではできないことを行えたりするなど、この生活に感謝しながら、勉強や生徒会の活動をしていきたい。

○高額な校舎を傷つけないように、ずっときれいな状態でいられるようにていねいに清掃したいと思った。
○三中生は非常に恵まれた環境で育っていることを知り、もっと三中や地域について知りたいと思った。三世帯同居率が高く、高齢者との交流が多いことも三中のいいところだと思った。
○三中生がすごく貴重な存在だと知りました。三中生として誇りを持てるように、日頃からあいさつや態度など頑張り、「三中生いいよね」など言われるように成長したいです。
○現在の三中生の人数が少ない中、高校進学後にいっしょの学校やクラスになることはめったにないと思うので、コミュニケーション力がまだまだ必要だなと感じました。
○三中の輝かしい歴史を知り、たくさんの団体種目で優勝していて誇らしく思った。家でも祖父に学校のことを聞いてみようと思いました。
○普段、自分たちのことを特別だと思うことは無かったが、今回の講話を聞いて自分たちはなかなか特別なのだと知ることができた。200 万円以上の価値のある生活ができるようにしたいと思います。
○他の中学校でも同じようにたくさんのお金などがかかっていると思うけど、70 人の生徒のためにもきちんと税金を使い設備を整えてくれていて、当たり前だけどすごく大事なことだと思った。

※講話の振り返りを真剣にまとめている様子 →

三学期始業式より(1/9) ～ 三学期に頑張りたいこと ～

１年生代表の○○○○○○○さん、
２年生代表の○○○○○○○さん、
３年生代表の○○○○○○○さんから三学期の抱負について発表がありました。

テストで目標とする点数を達成するために、ワークやプリントなどの見直しをする習慣をつけたい。部活動で、冬の間の練習でプレーを磨き、けがをしない体つくりや、もっと食べて寝て身長を伸ばしたい。二学期学習面でできていなかったことを振り返り、その日勉強したところを少しでも復習し、きちんと頭に入れるようにしたい。自学ノートや「整理と対策ノート」を用いて、毎日復習を心掛け実力テスト、そして受験にむけて学力を伸ばしていきたい。立志式で家族や両親に感謝を伝え、合唱で感動させることができる式にしたい。委員会の活動でクラスに呼びかけを行うとともに見本となる行動をしていきたい。進路実現に向け、最後の三学期を全力で頑張りたいなど、それぞれの学年に応じた抱負を発表しました。「一年の計は元旦にあり」の言葉もあります。三学期は、まとめの時期であると同時に新年度につながる時期です。それぞれの目標を実現できる三学期にしたいですね。

立志式で堂々と発表

１月 27 日(土)、２年生が、保護者を招いて立志式を行いました。式で一人一人が色紙に書いた座右の銘とその言葉を大切にしている理由を発表しました。また、学年合唱も披露しました。それぞれの生徒が、思いのこもった個性的な座右の銘を堂々と伝えることができました。式に先立っては、高校２年生の卒業生から進路についての話を聞く座談会も設定され、並行して保護者対象の進路説明会も実施しました。

座右の銘を色紙に記し、決意を述べる生徒たち
＝東根市・東根三中

個性を表す座右の銘 東根三中 立志式

東根

東根市の東根三中（竹内斉校長、70人）で27日、立志式が行われ、2年生21人が「元服の儀」にちなんで自身の目標に向かう決意を新たにした。

生徒たちは色紙に座右の銘を記し、保護者らに向けて発表した。人工知能（AI）の活用が広がる中だからこそ独自の視点を持とうという「奇想天外」、部活動での経験から地道に努力する大切さを知ったとする「千里の道も一歩から」など、それぞれの個性を表した言葉が並んだ。

式に先立ち、高校2年になった卒業生5人との座談会も開いた。先輩たちは受験や高校生活について紹介し、勉強や学校活動に積極的に取り組むことが将来の選択肢を広げることを伝えた。東海林有斗さん(14)は「先輩の話を進路選択にも生かしたい」と話した。（伊豆田拓）

情報をお寄せください
0237(55)2532
0237(43)7333
0237(86)4241

将来に思いを馳せる一日となりました。山形新聞 2024 年 1 月 28 日の記事(許諾を得て掲載)↑

～3 月の主な行事日程～

※4 月 6 日(土)に令和 6 年度東根第三中学校入学式を挙行いたします。よろしくお願いいたします。

日(曜)	主 な 予 定	日(曜)	主 な 予 定
7(木)	公立高校入選学力検査	16(土)～	年度末・年度初め休業(～4/4)
11(月)	同窓会入会式　全校集会	17(日)	公立高校入選合格発表
13(水)	卒業式総練習・式準備　感謝の会	20(水)	春分の日(祝日)
14(木)	令和5年度卒業証書授与式	27(水)	離任式　職員会議
15(金)	1，2 年生修了式・通知表配付	4/5(金)	登校日(新任式・始業式)新入生オリエンテーション